

# 県産材を活用した 木質ペレットの製造販売

支援機関：大洲商工会議所

連携機関：伊予銀行

支援内容：経営力の向上支援

支援区分：経営革新

## 有限会社 内藤鋼業



### 【企業概要】

社名：有限会社 内藤鋼業

代表者：代表取締役 内藤 昌典

業種：機械機具小売業

所在地：喜多郡内子町五十崎甲2126-1

資本金：8,000,000円

設立：平成2年6月

従業員：12名

Information

### ● 当社設立の背景、動機

当社は、愛媛県内の製材所向けに各種機械器具（機械や刃物）を販売している。製材所用丸鋸メーカー（本社大阪府）に勤務していた現代表者の父が、同社内子支店の営業を支援するため赴任し、昭和35年、内子支店を同社から独立させ創業した。

創業後、順調に事業は拡大してきたが、バブル崩壊後、住宅着工の伸び悩み、外材の輸入増加等を背景に製材業は構造的な不況業種となり、当社の業況も厳しくなってきた。

このような経営環境の中、新しい事業展開を模索し、平成14年バイオマス燃料として注目され始めた木質ペレット生産に着手した。平成17年に現代表者が就任し、木質バイオマス事業（木質ペレット、

ペレットストーブ販売）への取り組みを本格化させた。平成19年には、愛媛県資源循環優良モデル認



100%県内産の杉、ヒノキから作られているホワイトペレット（愛媛ペレット）とペレットストーブ

定制度で、当社の生産する木質ペレットが「優良リサイクル製品」として認定され、“愛媛ペレット”のブランドで生産を開始した。現在では、愛媛県屈指

の木質ペレット生産・販売会社として位置づけられている。

## ●木質バイオマス事業の概要

当社の木質バイオマス事業は、①木質ペレットの製造・販売、②ペレットストーブの販売、③業務用バイオマス燃焼設備の設置・販売の三つに分けられる。

木質ペレットは、愛媛県内の製材工場で発生する製材副産物である木屑を粉碎、圧縮、成型した固形燃料である。ペレットストーブやペレットボイラーの燃焼用として「愛媛ペレット」のブランドで販売している。また、燃焼用以外の用途として、都市部でペットとして人気が高まっているウサギの消臭砂として大手ペット用品メーカーから生産依頼があり、徐々に生産量を増加させている。

ペレットストーブは、住宅を始め、学校、店舗、病院など、様々な用途に使用できる。本格的に販売を開始した平成18年以降の3年間で、地元を中心に100台以上の販売実績がある。販売台数は増加傾向で、県内で使用されているペレットストーブの約9割を当社が販売している。

木質ペレットを燃料とした燃焼設備は、温浴施設やハウス栽培用など、業務用ボイラーとしてもニーズが高まっている。これまで数ヶ所に導入し、木質ペレットの生産量を増加させる大きな要因となっている。



ペレット製造作業



冷却中のペレット



製品の袋詰作業



完成ペレット

## ●木質バイオマス事業の課題

順調に業績拡大している木質バイオマス事業であるが、二つの課題に直面している。一つは、生産能力が限界に近づいていることである。燃焼用、ペット用（室内ペットの脱臭剤）、業務用など、木質ペレットへのニーズが高まる中、当社の生産設備は本社工場のみであり、受注量に対応するだけの生産量

を賄うことができなくなってきた。もう一つの課題は、他燃料とのコスト競争や利益率をアップさせるための製造コストの削減である。これらの課題を解決するためには、戦略的な事業展開と設備投資に必要となる資金の確保が求められていた。

## ■拠点の具体的な支援内容

### 1. ビジネスプランの作成

生産能力の増強、コスト削減等を目的とした中期経営計画を作成することになった。中期経営計画では、木質ペレットの完全自社生産体制を構築するためのビジネスプランを明確にした。

#### ① 本社工場の生産能力増強

本社裏の土地170坪を購入し、燃焼用ペレット製造工場を増設する。現在燃焼用とペット用の2種類を生産し、非効率となっているため、本社工場は燃焼用専用工場とする。

#### ② 取引先製材所へのペレット製造設備導入

取引先の製材所に、ペレット生産設備を導入し、製材所で発生した木屑をそのまま活用しペレットを生産する。木屑をムダなく活用できることに加え、製材所と当社間の運送コストが削減される効果がある。3年間で県内4製材所への設備導入を順次実施する。

この二つの取り組みを実現し、完全自社生産体制が構築されれば、生産量の増加、利益率の向上、さらには品質の安定化を図ることが可能となる。

### 2. 地球環境活動の推進

木質バイオマス事業自体が地球環境に貢献する事業であるが、さらに環境に貢献する取り組みを進めることとした。ペレットの原料となるのは製材所から排出される木屑であるが、使用済みの割箸をペレットの原料とした“割箸ペレット”を生産することとした。現在、使用済みの割箸は焼却処分されているが、これを当社が回収しペレット原料とする。割箸ペレットを生産するための粉碎機も導入する。

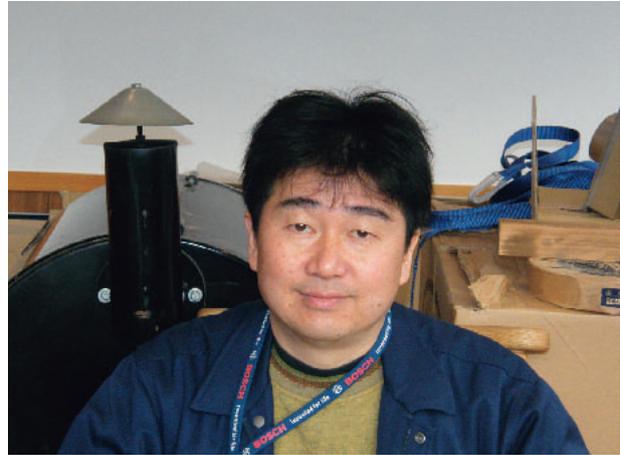
### 3. 経営革新計画認定と事業スタート

上記の事業を進めていく上では設備投資が必要となる。金融機関から支援を受けられるよう損益・収支計画、借入計画を綿密に作成した。低利融資を活用するため、県の経営革新計画の承認も受けた。金融機関へ今回作成した事業計画を説明したところ、昨年末には3年計画の初年度に必要な資金を低利で調達することができた。本社工場への設備投資、松山市の製材所への設備導入も実現し、平成22年3月から増産体制に入る予定である。

来年度以降も、順次製材所への設備導入を進め、現在の月産15tの生産量を3年後には80tにする予定である。

## ● 拠点を利用した事業者の声

これまで中期的な計画を作成して、設備投資や資金調達を行ったことはありませんでした。実際に実施内容だけでなく、損益計画や借入金計画などを文書化することは思った以上に大変でしたが、応援コーディネーターの支援をいただき完成することができました。今回、3年間の事業計画を文書に明確にしたことで、頭の中で考えていたことを整理することができました。また、事業計画書を作成したことで、金融機関への説明も容易になり、有利な条件で資金調達することができ、スムーズに新たな取り組みをスタートさせることができました。今後は、この計画書を常に念頭におき、事業計画を成功させようと思っています。



内藤社長

### 愛がある愛媛ペレットを燃料として使用する機器



ペレットストーブ



ペレット温風器



ペレットボイラー

## Staff voice 支援に携わったスタッフの声



応援コーディネーター  
上野 敬治

環境問題がクローズアップされる中、木質バイオマス事業は注目される事業です。しかし、採算性や安定した販路の確保など、事業を進める上での課題が多く、本格的に参入している業者は少ないのが現状です。愛媛県には豊富な森林資源があり、この資源を有効活用することは、地域経済にとっても大きな意義があります。

今でこそ木質バイオマス事業は注目されていますが、当社は、全く注目されていなかった平成14年から事業に着手し、試行錯誤を繰り返した結果安定したペレット生産体制を構築されました。同業界の草分け的な企業で、その先見性には驚いています。

愛媛の森林を活用し、さらに環境負荷軽減に貢献する木質バイオマス事業を今後3年間で拡大する計画ができました。是非実現して欲しいと願っています。また、今後とも計画実現に向けてサポートさせていただきたいと思っています。